2016.7.1 100th ANNIVERSARY OKAZAKI 岡崎市制施行100周年

34

歴史と文化がかおる矢作の里

矢作東学区

YAHAGIHIGASHI

将来、このまちで暮らすみなさんへ

矢作東学区には矢作神社の森、矢作川、日本武尊や浄瑠璃姫の伝説など、素晴らしい自然や史跡が多くあります。それらを100年後の未来に受け継いでいきたいです。

平成27年度
矢作東小学校6年
三浦大和さん

将来、車関係の仕事に就きたいと思っています。環境にやさしい、新しい車作りができたらいいなと考えています。僕たちの世代だけでなくその次の世代のことも考えて、きれいなまち、住みやすいまちづくりに関わっていきたいです。

平成27年度
矢作北中学校3年
角谷隼人さん

浄瑠璃姫伝説や矢作神社で有名な矢作東学区。歴史のある町で生まれ育ったことを誇りに思っています。それらを今後も継承できるよう大切にし、みんなで環境保全に努めていきたいです。

平成27年度
矢作中学校3年
岩本莉緒菜さん

このまちには先人たちが培ってきたものがたくさんあります。私達の世代は、良きものを次の世代にしっかり伝え、託してゆく立場にあります。人のため、世の中のためを考えて行動する姿はいつの時代も美しいもの。学区の子どもたちにはそうなってほしいです。

矢作東小学校PTA
大谷久美さん

a local story 岡 of 崎 まちものがたり

編集後記

岡崎市制100周年記念事業の一環として「岡崎まちものがたり」を作成しました。地域が積み重ねてきた歴史を振り返りつつ、さまざまな文化遺産、逸話、自然景観を地域の自慢として取り上げました。学区の皆さんにとって、わがまちを見つめ直すきっかけになれば幸いです。

資料収集、写真撮影には作成委員の皆様にご尽力いただきました。また、作成にあたりご協力いただきました各位に対して、心より厚くお礼申し上げます。

〔作成委員会〕 今泉賢一／三浦徳雄／八田導英／畔柳昇／永田忠彦／鈴木隆雄／鈴木良博／清松治子／白石和宏／湯谷和久／大原正義／川喜田隆司／鋤柄欣宥

〔参考資料〕 矢作の里／わがふるさと やはぎ東／やはぎ／矢作町の歴史／矢作橋のたもと／写真で綴る矢作町五区60年／岡崎市史 矢作史料編／矢作町誌（大正版）／矢作町誌／新編岡崎市史11史料 現代／やはぎお宝マップ／矢作東小学校100周年記念誌

〔表紙写真〕 上：矢作町から見た矢作橋と岡崎城／下：歌川広重『東海道五拾三次 岡崎・矢矧之橋』（国立国会図書館蔵）

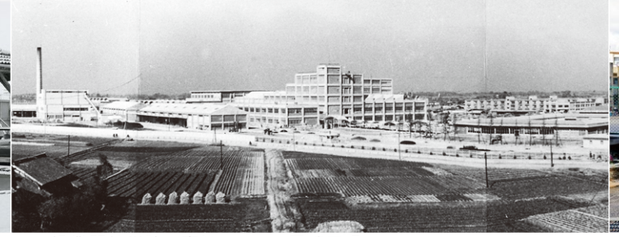
岡崎市制100周年記念事業
岡崎まちものがたり　34 矢作東学区まちものがたり　発行　2017年1月

7 市内初のエレベーター付き歩道橋

6 やはぎかんオープン記念式典（平成20年）

5 矢作町に移転した県警第二交通機動隊（昭和62年）

4 開業当初からの駅舎だった改築前の矢作橋駅（昭和48年）


3 操業開始当時の東洋レーヨン岡崎工場（昭和35年）

2 矢作東小学校に残る創立時の門柱

1 大正時代まであった矢作川の川舟。後ろに見えるのは矢作橋

矢作東学区 まちのなりたち

一八七二年■明治5 矢作で「花の撓」が始まる

一八八九年■明治22 町村制の実施により矢作村、長瀬村、志貴村、本郷村、志賀須香村、中郷村の6か村となる

一八九三年■明治26 町制施行で矢作町となる

一九〇六年■明治39 長瀬村、志貴村、本郷村、志賀須香村、中郷村が矢作町に合併

一九一五年■大正4 矢作町立矢作第四尋常小学校創立…2

一九一六年■大正5 この頃、川舟での輸送から陸上輸送に変わる…1

一九二三年■大正12 愛知電気鉄道神宮前ー東岡崎間が開通し矢作橋駅開業…4

一九三五年■昭和10 矢作町商工会設立

一九四五年■昭和20 東洋紡績が町内に7万坪を取得し工場用地として埋め立てる（後に戦況悪化により中止）

一九五一年■昭和26 岡崎空襲により矢作町三区集会所ほか数軒が被災

一九五三年■昭和28 第15代目矢作橋が完成

一九五四年■昭和29 学区内の国道1号が開通

一九五五年■昭和30 矢作町四区から名鉄線路南側150余戸が独立し矢作町五区が発足

一九六〇年■昭和35 矢作町四区の竊樹社より分祀し矢作町五区竊樹神社を置く

一九六八年■昭和43 東洋レーヨン岡崎工場が操業を開始…3

一九六九年■昭和44 矢作町三区の祭礼山車が岡崎市有形民俗文化財に指定（1973年に矢作町二区の祭礼山車も指定）

一九七二年■昭和47 矢作中学校が矢作川河川敷で第1回アースワークを開催…8

一九七四年■昭和49 矢作マート協同組合Aコープ矢作店が開店

一九七八年■昭和53 石田茂作氏が廃瓦塔を建立

一九八三年■昭和58 矢作市民センターが開設。矢作支所もここに移転

一九八七年■昭和62 矢作東学区市民ホームが開設

一九八九年■平成1 愛知県警察本部第二交通機動隊が大平から矢作に移転…5

一九九二年■平成4 矢作橋たもとに「出合之像」建立

一九九九年■平成11 矢作東学区こどもの家が開設

二〇〇五年■平成17 矢作交番が矢作橋たもとから矢作橋駅前に移転

二〇〇八年■平成20 愛・地球博「あいち山車・からくり総揃え」に二区・三区の山車が出展

二〇一三年■平成25 西部地域交流センター「やはぎかん」開館…6

二〇一五年■平成27 矢作支所も矢作市民センター内からここに移転

国道1号にエレベーター付き歩道橋が完成…7

第16代目矢作橋の付け替え工事が完了

矢作東小学校創立100周年記念式典を挙行

毎年恒例のアースワーク（写真は平成24年）…8

旧碧海郡矢作町役場（昭和初期）

矢作町内の東海道松並木（昭和初期）

学区のあゆみ

矢作川を挟んで岡崎市街と向かい合う矢作東学区は、明治時代から昭和30年の岡崎市合併まで碧海郡矢作町の中心地区として役場が置かれていました。1906年（明治39）に矢作町・長瀬村・志貴村・本郷村・志賀須賀村・中郷村が合併した当時の戸数は2100戸、人口は1万2926人。このとき全町に32の大字が制定され、現矢作町は矢作第1区（中乃切）、第2区（東中乃切）、第3区（西中乃切）、第4区（上乃切）に分けられました。これが現在の町内会区分のもとになっています。

1955年（昭和30）、碧海郡矢作町は岡崎市に合併。この時の矢作町の戸数は3063戸、人口は1万5938人。大字は町になり、学区は矢作町一～五区、暮戸町、北本郷町、中園町の一部となりました。

矢作町五区と東洋レーヨン岡崎工場

名鉄矢作橋駅南に碁盤目状に区画されているのは矢作町五区です。ここは1935年（昭和10）、東洋紡績株式会社が工場用地として買収した場所です。しかし、戦況が激しくなり工場建設は中止。戦後間もなくの1946年（昭和21）頃から土地購入希望者の募集が始まり、住宅地となりました。矢作町四区から独立して「矢作町五区」となったのは1953年（昭和28）のことです。

五区に隣接して、1960年（昭和35）に東洋レーヨン岡崎工場（現東レ）が操業を開始しました。全国から何千人もの人々が学区へ転入したことで矢作の町が一段と賑やかになり、大きく発展するきっかけのひとつとなりました。

碁盤目状に区割された矢作町五区の全景

DATA

□人　口　12,542人
男性　6,376人
女性　6,166人
□世帯数　5,130世帯
□面　積　2.65㎢
［2016年7月1日現在］

矢作東学区 まちものがたりマップ

豊かな水をたたえ悠々と流れる矢作川。その中流に位置する矢作の地は、古くから交通の要衝として栄えてきました。多くの古跡を有し、さまざまな伝説が残る、不思議で楽しい町です。

G 暮戸説教場（暮戸教会）
1792年（寛政4）設立。京都本願寺と三河門徒との連絡や集会に使用

H 北本郷神明社
室町以前よりあったと伝わる古社。境内で三八市が開かれる

F 十王堂
誓願寺の門前にあり、1758年（宝暦8）建立の「浄瑠璃姫菩提所」碑が立つ

I 誓願寺（せいがんじ）

浄瑠璃姫伝説と「花の撓（はなのとう）」で知られる。
詳しくは特集ページ参照。

源義経像と浄瑠璃姫像。一対で十王堂に祀られた

境内にある五輪石塔。中央が浄瑠璃姫の墓。左奥には兼高長者の墓も

J 勝蓮寺（しょうれんじ）

親鸞聖人ゆかりの寺で「腰掛け石」がある。
徳川家康・信康親子の崇敬も厚かった。

室町時代に作られた獅子牡丹文鎌倉彫香合

絹本著色徳川信康像。唯一の信康像といわれる

絹本著色蓮如上人像。室町時代の作とされる

COLUMN
矢作橋杭打祭礼図
表紙の浮世絵は歌川広重の作ですが、こちらは矢作神社に奉納された絵馬に描かれた矢作橋です。1674年（延宝2）、矢作橋の二度目の架け替えの無事を祈願し奉納されたもので、矢作橋の改築のたびに城主や普請奉行から神社にさまざまな寄進物がありました。

A 矢作川景勝の碑
源清綱の詠んだ歌「矢作川 弓張月のかげさして 清き流れに 千鳥鳴くなり」が刻まれている

B 光明寺
松平親氏（徳阿弥）の分骨塔や本田李喬の句碑がある

C 旧柳堂寺の親鸞聖人像
親鸞聖人お手植えの柿の木があった。旧境内に銅像が建つ

D 寶塔さま
彌五騰社境内にあり、1828年（文政11）の洪水の犠牲者を慰霊する

E 廃瓦塔
学区出身で仏教考古学者の石田茂作氏が1974年（昭和49）に建立。高さ10mの七重の塔

歴史と文化を受け継ぐまち・矢作東学区の

名所旧跡を訪ねる

数々の文化財と矢作神社例祭

矢作東学区の表玄関「矢作橋」と「出合之像」。橋の上で野宿をしていた日吉丸（豊臣秀吉）。通りすがりの野武士に槍で小突かれ、怒って槍を掴んだ。これが後の名将、蜂須賀小六との出合い…という物語が像のモチーフ

矢作東学区は古来の歴史と文化を数多く受け継ぐ古式ゆかしいまちであり、それがまちの発展と文化向上の基礎となっています。それぞれの神社仏閣にはまちの「たからもの」が数多く散在しています。

市指定有形文化財には絵画の「**絹本著色蓮如上人像**・**絹本著色徳川信康像**」（勝蓮寺所蔵）、工芸品の「**雲珠形松平親氏位牌**」（光明寺所蔵）、「**獅子牡丹文鎌倉彫香合**」（勝蓮寺所蔵）が、有形民俗文化財には**祭礼山車**（矢作二区・三区所蔵）、**矢作神社絵馬群**（十二点、矢作神社所蔵）等があります。

毎年10月2日には矢作神社例祭が執り行われ、祭典では長瀬楽人会の雅楽演奏とともに浦安の舞が奉納されます。出店が軒を連ねる境内では夜になると奉納演芸大会が催され、のど自慢や子どもの踊り、そのほか楽しいアトラクションで盛況です。早朝より2台の祭礼山車を矢作神社へ奉納。その後は町内を曳き廻し、お囃子や子どもによる祭礼踊りが華を添えます。当日は市内外から数多くの見物客が訪れ、山車が町の中央にさしかかると祭りは最高潮を迎えます。

また、文化財指定はされていませんが、5月第2日曜には時宗寺院の誓願寺で「花の撓」が催され、境内のお堂で農作物の吉凶を占う「おためし」が行われます。同時に釈迦の花祭りと浄瑠璃姫の供養もあり、旧東海道筋には出店が数多く並びます。多くの見物客で町は大いににぎわいます。

「花の撓」当日の旧東海道のにぎわい

1902 年（明治 35）に改築された拝殿

祖先から受け継いだ、大切なたからもの

二区・三区祭礼山車

2台の山車はほぼ同一の造りで、上の屋根を昇降させることができる二層構造。高さは約7メートル、重さは約3トンあり、10月2日の矢作神社例祭に合わせ二区・三区合同で旧東海道を中心に曳き廻します。

二重の唐破風にはそれぞれ彫刻が施されています。二区の山車の鬼板は牛若丸が鞍馬山で天狗に武道を学んでいる景。他に昇り龍・下り龍・蛙又・松・孔雀・布袋等があしらわれています。三区の山車は、鬼板が楠木正成・正行父子櫻井の別れの景で、他に懸魚の三羽の鳳凰をはじめ、竹に虎の透かし彫り、力士像などが見られます。これらはすべて純金厚箔を使用し極彩色が施されています。

幕類はともに大幕猩々を使用。また水引幕は、二区は本金糸で鳳凰と麒麟の刺繍を織り成したもの。三区は金糸・銀糸を用いて龍と波を縫い取り、眼に玉を嵌め、爪に銀板が張ってあります。いずれも華麗荘厳、豪華絢爛たるものです。

二区の山車（左）は江戸時代末期の 1840 年、惣頭領・大山庄八によって建造。三区の山車（右）は 1839 年、同じく大山庄八の作

地名の起こり、そして名前が取り持つ縁

矢作神社

この地は古く「蓬里」と呼ばれていました。「古事記」にある第十二代景行天皇の時代、東海の賊を平定するため当地を訪れた日本武尊は、戦いの神「素盞嗚命」をお祀りし、率いた矢作部に矢を作らせたことから社号を矢作神社と称し、このあたり一帯を「矢作」と呼び習わしました。

当社には矢作橋改築のたびに岡崎城主から寄進物があり、矢作橋改築にまつわる絵馬の奉納もありました。また第一次世界大戦で活躍した「巡洋艦矢矧」の艦長以下乗組員一同の崇敬が篤く、艦内に矢作神社の分霊がお祀りされていました。また1921年(大正10)と1925年には兵員一同の正式参拝が行われ、艦の模型が奉納されました。

1940年（昭和15）の皇紀2600年を記念して建立された日本武尊陶像（1943年建立）

1921年（大正10）に奉納された初代「矢矧」模型

知っておきたい

学区にまつわる伝説

うなり石

足利尊氏と矢作川で戦った新田義貞は、日本武尊の故事にならい神前で戦勝を祈りました。すると突然、本殿前の石がうなりだします。「これは神のご加護」と意を強くした義貞は大いに戦い、勝ちを収めました。故事を伝える「うなり石」は矢作神社の拝殿南西にあります。

新田義貞ゆかりの「うなり石」と地名の故事を伝える「矢竹薮」

浄瑠璃姫の伝説

1174年（承安4）3月、牛若丸（源義経）が東北への旅の途中矢作の里を訪れ、兼高長者の娘、浄瑠璃姫の家に宿を取り11日ほど世話になりました。ある日の夜、一室から静かに聞こえてくる琴の美しい音色にひかれ、持っていた笛で吹き合わせた事から、ふたりの間に愛が芽生えます。しかし牛若丸は旅立たねばならず、形見として姫に名笛「薄墨」を授け、矢作を去りました。姫は、添うに添われぬ恋に悲しむあまり、ついに菅生川に身を投じてしまいます。長者は姫を誓願寺に埋葬し「十王堂」を建てました。

姫の没後、兼高長者の屋敷にあった紫色に輝く庭石は八幡社に奉納されましたが、いつの間にか地中深く埋もれてしまったと伝わっています。

矢作東小の東側の田んぼの中にある紫石伝説の地

浄瑠璃姫の像（誓願寺蔵）

浄瑠璃姫に授けられた名笛「薄墨」（誓願寺蔵）